

KCAI・KCSI・KCA-IR 逆L型ブロック

逆L階段ブロックは2001年にKCSI-6を初製造施工し、以来お客様のご要望にて使いやすいブロックの研究開発を続けております。従来型のL型階段ブロックと比較したうえでのメリットは、以下の通りです。

メリット	①R形状(R=15程度)のブロック接続部	踏面・蹴上接続部分がR形状となっているため、階段下に清掃水などの水漏れがないので、電気室等の上にも設置可能。(KCAI・KCSI-6・KCA-IRシリーズ)
	②容易なメンテナンス	ブロック接続部分がR形状のため汚れにくく、メンテナンスが容易である。(KCAI・KCA-IR)
	③蹴上部へのフットライト装着が容易	蹴上・踏面接続部に隙間(3~5mm)があるので施工後でも穴あけ等不要で、配線しやすい。

KCAI(逆L型 稲田御影砕石入りコンクリート擬石遠心階段:蹴上R形状あり)

逆L型擬石階段ブロック。従来のL型を反転させたブロックです。2014年から製造施工を開始。

KCSI-6(逆L型 2面本石打込み階段:蹴上R形状無し)

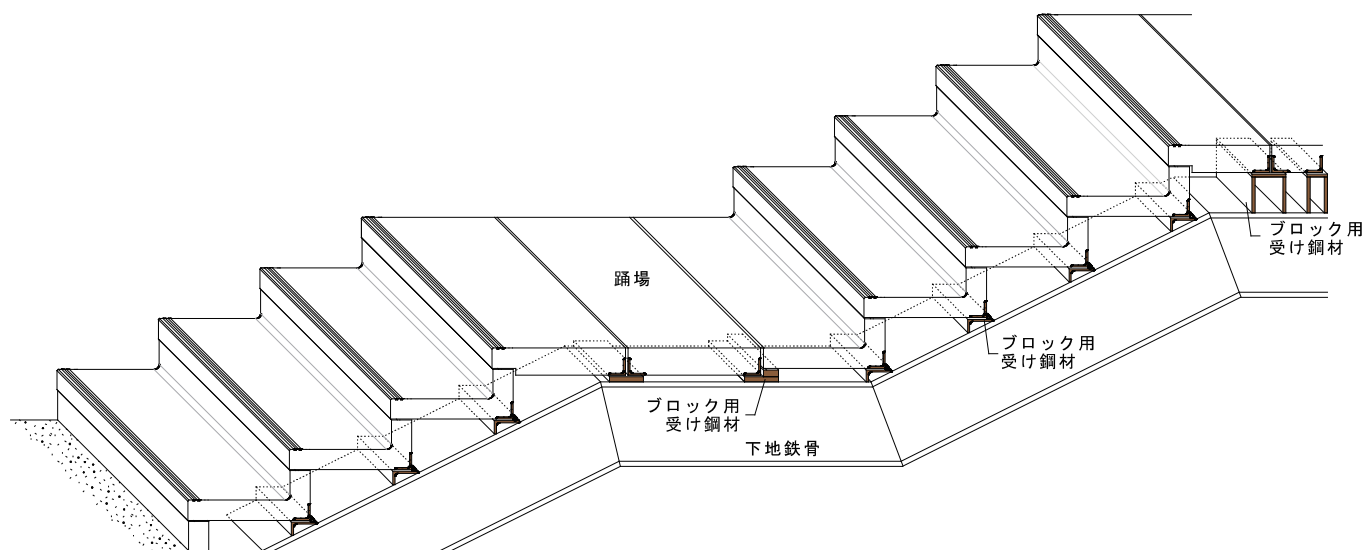
KCAIを全面本石貼りとしたブロックとして開発され、1998年から製造施工を開始。

KCA-IR(逆L型 稲田御影砕石入りコンクリート擬石遠心階段:蹴上R形状あり)

KCAIのR形状の蹴上をもつ階段ブロックとして開発され、2014年から製造を開始。

KCAIよりも踏面・蹴上接続部分のRが大きいのが特徴です。

施工例(図はKCA-IR、二点支持工法)



※1 色粉等で色を調整する場合は、別途ご相談下さい。

※仕上げの組合せ変更は、不可能な場合がありますので、ご相談下さい。